

生命・自然科学コース

身近なところから自然災害を知る・防ぐ・備える



災害を減らすためには、被害の発生から復興過程までを知ることが重要となります。本講座では、まず新潟県を取り巻く自然災害(地震、気象、雪氷)の現状と災害形態の変容について学習します。次に、東日本大震災の被害や教訓を知り、災害の軽減や災害からの復旧・復興にとって、何が重要なのか、課題は何か、どのような取り組みがなされているのかを学習します。これらにより、災害の全体像をとらえ、日頃の備えやまちづくりを考えていきます。

定員 70人

応募者多数の場合は抽選となります。

講座コーディネーター 河島 克久(新潟大学 災害・復興科学研究所 准教授)

火曜日 午後2時～午後4時

回/月日	テーマ/内容	講師
第1回 10/2	新潟を取り巻く自然災害に備える(雪氷災害) + ガイダンス 新潟地域における豪雪の特徴や雪氷災害の実態、温暖化による雪氷災害の変容などを学習します。	新潟大学 災害・復興科学研究所 准教授 河島 克久
第2回 10/9	新潟を取り巻く自然災害に備える(水災害) 2011年に発生した県内の洪水や東北地方での大規模な津波を通して水災害の特徴を知ることにより、身近なところから水災害に備えることを学習します。	新潟大学 災害・復興科学研究所 准教授 安田 浩保
第3回 10/23	新潟を取り巻く自然災害に備える(気象災害) 北半球(極地域)全体の気象現象や変動を学習し、グローバルな視点で今後の新潟の気象変化を考えます。	新潟大学 理学部 准教授 本田 明治
第4回 10/30	東日本大震災では何が起っていたのか 東日本大震災の被害の概要と課題を学習し、得られた教訓から新潟地域の課題と今後の防災と減災を考えます。	新潟大学 災害・復興科学研究所 准教授 ト部 厚志
第5回 11/6	東日本大震災では何が起っていたのか(福島第一原発事故) 放射線や放射性物質などの基本的な内容を学習するとともに、福島第一原発事故後の状況について考えます。	富山高等専門学校 教授 高田 英治
第6回 11/13	災害からの復旧・復興を考える(東北の取り組みと現状) 東日本大震災からの復興について、中越地震など過去の災害における事例なども交えながら、現状と課題を学習し、地域や暮らしなどの復旧・復興を考えます。	東北工業大学 ライフデザイン学部 准教授 福留 邦洋
第7回 11/20	災害からの復旧・復興を考える(災害食への転換) 災害時に求められる食とは何か。災害食への転換とその改良の実態を学習します(試食もします)。	ホリカフーズ㈱ 取締役 新潟大学大学院 客員教授 別府 茂
第8回 11/27	災害からの復旧・復興を考える(新潟からの発信) 中越地震や水害からの復興におけるさまざまな取り組みや課題を学習し、災害からの復興とは何かについて一緒に考えます。	長岡震災アーカイブ センターさおくみらい 研究員 樋口 勲
第9回 12/4	多発する災害から命を守る(地域力の向上を目指して) 防災士や自主防災組織の先駆的な取り組み事例を紹介し、災害に備えて地域力を向上させる重要性や課題を考えます。	防災士研修センター 代表取締役 甘中 繁雄
第10回 12/11	田んぼで洪水を制御する 新潟発の取組「田んぼダム」の効果と課題について、平成23年に発生した新潟福島豪雨災害を事例として考えます。	新潟大学 農学部 准教授 吉川 夏樹

にいがた市民大学

入学式(公開講演会)

- 【対 象】・第18期(平成24年度)
にいがた市民大学受講生
- 【会 場】・新潟市民プラザ
新潟市中央区西堀通6番町866番地
NEXT21ビル6階
- 【日 時】・平成24年8月18日(土)
午後2:30～午後4:30(開場午後2:00)
- 【内 容】・各講座の講座紹介
・基調講演
(東京農業大学 名誉教授 小泉武夫)

現代の社会問題コース
国際ニュースの先を読む ―世界の中の日本と新潟。その未来―

人間理解コース
人間関係の臨床心理学 ―人との関わりの中で生きていく私たち―

新潟学コース
湊町新潟の食文化

新潟学コース(市民企画講座)
市外からみた新潟の歴史 ―隠れた人物や史実を読み解く―

新潟学コース(地域連携講座)
福島潟学 ―潟文化の魅力と展望―

生命・自然科学コース
身近なところから自然災害を知る・防ぐ・備える

生命・自然科学コース(大学コンソーシアム連携講座)
環境共生 ―さまざまな視点から、持続可能な社会の構築を考える―

- ◆対 象 新潟市に在住、在勤、在学する方
- ◆受 講 料 1講座(全10回)につき10,000円
(地域連携講座(全7回)は7,000円)
- ◆会 場 新潟市生涯学習センター(クロスパルにいがた)ほか
- ◆申し込み方法 裏面の「受講申込書」でにいがた市民大学事務局までお申し込みください。
ホームページからお申し込みできます。
- ◆締め切り 平成24年8月3日(金) ※消印有効

にいがた市民大学事務局
(新潟市生涯学習センター 学習支援係)

〒951-8055 新潟市中央区礎町通3ノ町2086番地
TEL: 025-224-2088 FAX: 025-223-4572
ホームページ: “にいがた市民大学”で検索
<http://www.city.niigata.lg.jp/kosodate/manabishogaku/sonotashientorikumi/shimin/index.html>
E-mail: crosspal@city.niigata.lg.jp

※お申し込みの際にご記入いただいた個人情報については、市民大学のご連絡のためのみに利用させていただきます。

「受講申込書」は裏面へGO!

この申込書を新潟市生涯学習センターへお送りください。(郵便・FAX・持参可)
その他、ホームページからもお申し込みできます。

第18期(平成24年度)「にいがた市民大学」受講申込書

*** 該当する□に✓印をつけ、すべての項目について記入してください ***

1 希望講座

☐	現代の社会問題コース	国際ニュースの先を読む ー世界の中の日本と新潟。その未来ー
☐	人間理解コース	人間関係の臨床心理学 ー人との関わりの中で生きていく私たちー
☐	新潟学コース	湊町新潟の食文化
☐	新潟学コース (市民企画講座)	市外からみた新潟の歴史 ー隠れた人物や史実を読み解くー
☐	新潟学コース (地域連携講座)	福島潟学 ー潟文化の魅力と展望ー
☐	生命・自然科学コース	身近なところから自然災害を 知る・防ぐ・備える
☐	生命・自然科学コース (大学コンソーシアム連携講座)	環境共生 ーさまざまな視点から、持続可能な社会の構築を考えるー

2 入学式

☐ 出席する ☐ 出席しない

3 氏名

フリガナ

4 性別

☐ 男 ☐ 女

5 年齢

☐ 10代 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70代 ☐ 80歳以上

6 住所

〒 _____

※ 市外にお住まいの方は、下記に勤務先等の所在地を記入してください。

《勤務先・学校等》 新潟市 _____

7 連絡先

☐ 自宅 ☐ 勤務先・学校等 電話番号() _____
FAX() _____
E-mail _____

8 にいがた市民大学の受講経験

☐ ある ☐ ない

※お申し込みの際にご記入いただいた個人情報については、市民大学のご連絡のためのみに利用させていただきます。

◎ 申し込み締め切りは **平成24年8月3日(金)消印有効** です。

FAX 025-223-4572 (にいがた市民大学事務局)

※ホームページからもお申し込みできます。